

『まほろば健康パーク』の整備推進

— “子どもが遊びや運動を通して成長する公園” を目指した機能強化 —

【担当省庁】 国土交通省

奈良県における取組

- 奈良県では、公共施設整備にあたり、子どもが楽しく過ごせる空間整備を進めている。
- まほろば健康パークでは、子どもを中心にみんなが憩い楽しめる空間を創出することを目指しており、『なら歴史芸術文化村』や今後再整備が予定されている『中央卸売市場』とも連携し、相互利用を促進することにより地域の活性化を図っていく。

① 中央卸売市場 食とともに文化・スポーツを楽しむ複合施設

(令和10年開場予定)



子ども向け食堂の整備



② まほろば健康パーク

みんなが憩い楽しみ、子どもが遊びや運動を通して成長する公園

(令和9年開園予定)



③ なら歴史芸術文化村

歴史・芸術・食と農など、奈良県の誇る文化に触れることができる施設

(令和4年3月21日開村)



子どもを対象としたアートプログラム等を実施

- まほろば健康パーク（運動公園、約11.8ha）は、競泳用プールやテニスコート、ファミリープール等の機能を有するスポーツ拠点施設の一つであり、PFI事業により整備し運営を行っている。
- まほろば健康パークの隣接地を活用し、民間活力を導入した機能強化を図るため、令和4年度から民間事業者の選定業務に着手している。

